



ウトナイの子

【教育目標】夢をいだき 未来を拓くたくましい ウトナイの子

令和6年5月31日

第2号

Tel 57-6700

Fax 57-6715

自己肯定感について

校長 手塚 敏

「自己肯定感」という言葉は、ここ数年でかなり一般的になりました。そして、今の子どもたちは自己肯定感が低いと言われ続けています。各種アンケートでも「自分自身に満足している子は半数以下」という結果が多いです。諸外国の調査では、71～86%という結果が多く、日本の子どもたちは、かなり自己肯定感が低い状況にあるということは明らかです。また、「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」という項目もかなり低い数字になっており、「うまくいくかわからないなら、やらないほうがいい」と考えている子どもがたくさんいるようです。

インターネットを使えば、早く、確実に、そして楽に、必要な情報だけをすぐに手に入れます。それ自体は悪くないことですし、むしろ効率的で生産的です。でも、これに慣れ、これだけに頼ってしまうと、都合よくいかないことがあったときに、すぐあきらめてしまいかねません。

人生は、そんなに都合よくうまくいかないことのほうが多いものです。

そんな時にそれでもがんばろうと思えたり、違う方法はないかなと考えたりすることができるのが、「自己肯定力の力」です。コスパやタイパ重視の現代だからこそ、自己肯定感を育むことが重要だと考えます。このことを共有し、子どもの周りにいる私たち大人（教職員、保護者、地域住民等々）が、自己肯定感を上げていく工夫を始めれば、子どもは大きく変わっていけるということです。

自己肯定感は、子どもが小さいうちから心がければ、どんどん育っていきます。もちろん、思春期を過ぎても、大人になっても遅すぎることはありません。しかし、子どものほうが、自己肯定感が早く育ちやすいことは事実です。

自己肯定感とは、「わたしはわたしのままで OK」、「わたしはわたしのままで幸せになる価値がある」と信じられる気持ちのことです。自己肯定感とは、ネガティブを否定するものではありません。自分に短所があっても、それらをひっくるめて自分自身だと思えることが大切です。ダメな部分があってもいいし、欠点があってもいい。自信マンマンじゃなくたっていい。いつもポジティブになれなくたっていいのです。どんな自分も丸ごと受け入れて、「これが自分なんだ！」と認めて、自分自身に OK を出して生きよう、幸せになろう、とする源の感情こそが「自己肯定感」なのです。

今年度、めざす学校像を“Well-Being「多様な幸せ」を実現する学校”としました。

児童一人一人が自分自身のことを好きになってほしいです。そして、本校児童一人一人に心理的安全性が保障された安心できる安定した学校を提供したいです。



< 6月の行事予定 >

- 5 水 午前授業
6 木 避難訓練（地震・津波）
8 土 **運動会**
10 月 振替休業日
12 水 歯科検診、児童会
18 火 **ウトナイウィーク 1年**
19 水 内科検診（2・4年）、クラブ



- 20 木 **ウトナイウィーク 5年**
21 金 フッ化物洗口、ゼロごみ出前講座（4年）
24 月 **ウトナイウィーク 4年**
25 火 **ウトナイウィーク 3年**
26 水 **ウトナイウィーク 2年**、児童会
28 金 **ウトナイウィーク 6年**

遠足（1～4年、つばさ）

※ウトナイウィークの予備日については、学年だよりで確認してください。

学校評価アンケートについて

今年度の学校経営方針を保護者の皆様と共有し、同じベクトルで児童の成長を支えるために、早めにアンケート項目をお知らせします。別添の文書をご確認ください。

なお、実際のアンケートについては、11月中旬にメール配信いたします。ご協力をお願いします。



ウトナイウィークの取組

ウトナイ湖での学習をととして、SDGs やゼロカーボンシティ、自然を守る大切さについて知ることを目的に、今年度もウトナイウィークを行います。ネイチャーセンター周辺の散策路をウォークラリーしながらクイズに答えたり、記録したりしながら学習します。学校から現地までは、バスによる移動となります。内容や持ち物など詳細につきましては、学年だより等でお知らせします。

運動会について

5月24日（金）に、運動会のプログラム及び観覧詳細図をメール配信しました。昨年度の保護者アンケートを踏まえて検討した内容についてお知らせします。

【種目について】

- ・運動会は、日頃の学習の成果を発表する場と位置付けております。種目は、体育科の授業で学習した「徒競走」、「表現」、「団体種目（1年生玉入れ、2年生以上リレー）」を行います。
- ・リレーのルールについては、学年の実態等を踏まえて工夫し、児童に説明します。

【観覧等について】

- ・観覧スペース（イスやシート等の設置不可）とフリースペース（イスやシート等の設置可）の区切りがわかりづらいとの声があったことから、カラーコーン等を活用してわかりやすくします。
- ・車いすや足の怪我など、観覧に際して配慮を必要とされる場合は、学校までご連絡ください。

< 学校へのお子さんの送迎について >

学校へお子さんを送迎する際には、学校側に停車するようお願いします。また、身障者用の駐車場及び付近の住宅前への停車はご遠慮ください。今年度に入り複数回、付近の住民から苦情が寄せられております。児童及び住民の安全面へのご配慮をお願いいたします。